

## 北上市在宅医療介護連携支援推進事業がスタートしました

平成28年6月6日、さくらホール小ホールにて、平成28年度第1回北上市在宅医療介護連携推進協議会が開催されました。

医療機関及び医療関係の職能団体、介護施設及び介護関係の職能団体など16団体・36名が参加し、在宅医療介護連携推進事業及び事業計画について協議が行われました。

北上市から委託を受け、北上済生会病院内に設置された「在宅医療介護連携支援センター」職員から、センター業務内容について説明が行われました。

また、県立中部病院星野彰先生より、「地域で取り組むアドバンス・ケア・プランニング ～年をとっても安心して暮らせるまちをめざして～」と題し、年をとっても、ほうでなくなっても、安心して暮らせるまちづくりについて、話題提供をいただきました。



## ケアマネと薬剤師からはじめる連携サミット開催！

日時：平成28年9月14日（水）19：00～20：30

場所：北上済生会病院（管理棟3階大会議室）

会費：無料

対象：北上市内の介護支援専門員、薬剤師

持物：名札 名刺 適宜飲み物、筆記用具

薬剤師、ケアマネそれぞれから連携のススメのお話をいただきます。

そのあとグループに分かれ、双方の利点、連携方法についてざくばらんに話していただきます。

研修会翌日からでも早速相談の電話ができるような顔の見える関係づくりをめざします。

申し込みについては、すでに各事業所にご案内してあります、案内用紙申込書にてお願いいたします。

申込締切：平成28年9月7日（水）

申込先：ケアマネジャー⇒在宅医療介護連携支援センター（北上済生会病院内）

薬剤師⇒ファースト調剤薬局

**たくさんの方の参加をお待ちしております。**



# 支援センターを立ち上げるに当たって

北上済生会病院 院長 佐藤智彦

日頃から北上市を中心とする地域の在宅医療介護に携わっておられます医療関係者の皆様、大変ご苦労様です。

皆様も御存知の如く、介護保険法に基づく厚労省の政策医療の一環として、地域に在宅医療・介護連携を支援するセンターの設置が求められ、北上市ではその事業を市庁や北上医師会や県立中部病院ではなく当院にその事業の拠点を委ねられました。

私達の済生会は、全国の都道府県にまたがって79の病院と20の診療所、さらに29の介護老人保健施設と49の特別養護老人ホーム、そして52の指定訪問看護ステーションを有し、障害児者福祉施設、児童福祉施設など合わせ377の施設、319事業を運営する日本最大の医療と介護・福祉を有する社会福祉法人であり、明治44年に「医療を受けられないで困っている方々の生命を救うように」『施薬救療』との明治天皇の済生勅語により創設されて以来、100年以上に渡って日本の医療と介護福祉を担ってまいりました。

当院は、この歴史的背景を踏まえて「寛容の精神」「親切な医療」「良質な医療」の基本理念と基本方針の下に、これまで北上地域の中核病院として急性期や回復期の医療のほかに維持期としての在宅医療、さらに救急医療、周産期医療、保健予防活動、生活困窮者支援事業等（なでしこプラン）に力を注いでまいりました。そして院内の職員に対しましては医師、看護部をはじめリハ部、薬剤部等におけるコメディカルや事務部に対するスキルアップを図り、病院全体としては医学生、看護学生、中高校生の病院研修、救急隊等への教育機関にもなっており、さらに北上市民への健康講座、母親教室等々の教育・啓発活動にも積極的に取り組んでまいりました。

以上を踏まえ、私達スタッフ一同は、上記の医療と介護福祉、教育・啓発活動のノウハウを十分に活かして北上市から委託されましたこの事業を進めてまいりたいと思います。

さて、この事業を進めるにあたりましては、主役は、これまで北上市の在宅医療介護を進めてまいりました訪問診療をされている医師会の先生方や訪問看護ステーションや介護老人福祉施設のスタッフの皆様です。国は地域の包括ケアシステムを充実させるべく人材の育成、在宅医療と在宅医療の提供体制の構築、医療・介護スタッフの情報共有の支援と研修、在宅医療・介護連携に関する医療相談、地域住民への在宅ケアの普及啓発、さらには在宅医療・介護連携に関する二次医療圏や関係市町村との連携を担うように求めています。北上地域における、この医療と介護の現場では個々にはすばらしいものを持っているにもかかわらず、これらの医療連携の在り方につきましては未だ不十分であります。在宅医療介護に携わっておられます皆様は何が出来ていて、何が不十分かは既にお判りになっておられると存じます。

さあ、これからが、我々に出来ることを一つ一つ積み重ね、北上市の「地域医療ビジョンと、まち作りを見据えたモデル地区」を作り上げて行こうではありませんか、それに向けてスタッフ一同、頑張っ

## 中部保健所出前講座見学報告

平成28年6月19日（日）、割田集会所にて、中部保健所医務主幹の栃内圭子氏を講師にむかえ、「みんなで支えよう地域の医療」をテーマにお話をいただきました。

参加者：集落の住民約15名、JA職員4名

内容：今回は、田植え終了後の早苗饗（さなぶり）の前座の勉強会でした。現在は農業を委託して行う人も多くなってきたことから、会の名前を早苗饗とせず、広く集落住民に呼びかけたとのこと。

### 《講義ポイント》

- ・みんなとは、住民・患者さん・医療従事者・医療機関のこと。
- ・みんなで医療を支えるためには、高血圧や脳血管疾患、糖尿病や脂質異常症など多くの病気は若い頃から予防することが大切。
- ・塩分の取りすぎや多量飲酒、喫煙を控えて減らそう生活習慣病、伸ばそう健康寿命。
- ・平均寿命と健康寿命、この差を縮められるかがカギ。
- ・きたかみいきいきプランより、北上型の地域包括ケアシステムについて。地域医療構想を実現するために、病床の機能分化と連携推進、医療介護の連携、在宅医療の充実、医療従事者の確保について取り組んでいく。

講義終了後は、参加者の皆さんと講師の先生との質問の時間が設けられ、活発な意見が交わされました。

## 平成28年度北上医師会市民公開講座 「認知症に向き合おう」参加報告

平成28年7月2日（土）、日本現代詩歌文学館にて、北上医師会主催による市民公開講座が開催され、医療・介護関係者の方や地域住民の方などたくさんの方が参加されました。

北上医師会会長根本薫先生のご挨拶のあと、岩手県立中部病院副院長田村乾一先生を座長に、「認知症と向き合おう」と題し、岩手医科大学内科学講座神経内科・老年科分野准教授米澤久司先生を講師にむかえ、認知症の仕組みや見つけ方、認知症は早期に発見し早期に治療することが大切であることなど、非常に分かりやすくお話をいただきました。また、認知症のご家族を介護されている方から体験談報告が行われました。

地域住民の方からも複数質問がでるなど、市民のみなさんの認知症に対する関心の高さがうかがわれる公開講座でした。

## 北上市認知症医療・介護連携講演会参加報告

平成28年7月27日（水）、北上市文化交流センターさくらホール小ホールにて、北上市認知症医療・介護連携講演会が開催されました。

北上市保健福祉部長寿介護課石川晴基課長の挨拶のあと、前全国訪問看護事業協会事務局長 宮崎和加子氏を講師にむかえ、「認知症を支えるこれからの地域・医療・介護の連携」と題した講演が行われました。

### 《講義ポイント》

- ・認知症初期集中推進事業を実施するということは、認知症の人と家族が安心して暮らせるまちを、官・民・住民の総力戦で支えていくということ。
- ・はじめての出会い・かかわりの第1歩 ○早期発見・早期対応が重要○緊急度を具体的に把握する ○専門家の目でみて、的確・確実に対応し、必要なサービスに結び受けていく。
- ・力量のあるレベルの高い生活援助力のあるチームづくりが必要。

医師、看護師、薬剤師、ケアマネジャーなど多くの職種の参加があり、定員を超える参加人数となりました。会場から時折笑いもおこり、参加者の関心の高さを示す講演会となりました。

# 在宅医療介護連携支援センターのご案内

平成28年2月に北上市の委託を受け、在宅医療介護連携支援センター（北上済生会病院2階地域医療福祉連携室隣）を開設いたしました。医療介護職の連携や職種間の連携を支援し、多職種が協力してスムーズに活動できる土台を作ることで、在宅での適切な医療介護を提供できる体制を整え、在宅医療の推進に取り組んでまいりますので、みなさまのご支援ご協力をお願いいたします。

在宅医療介護連携支援事業に取り組んでいきます。

- ア 地域の医療介護の資源の把握
- イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と介護の提供体制の構築推進
- ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
- エ 医療・介護関係者の情報共有の支援
- オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援
- カ 医療・介護関係者の研修
- キ 地域住民への普及啓発
- ク 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携



## 設置場所

＊住所 北上市花園町一丁目6番8号（北上済生会病院 管理棟2階）

＊TEL0197-88-3011（ダイヤルイン） ＊FAX0197-88-3012

## 相談日

月曜日～金曜日 受付時間 8:30～17:15



看護師 菊池 絹子  
医療ソーシャルワーカー 菊池 涼子



在宅医療介護連携推進事業担当  
北上市長寿介護課 石川 晴基課長  
住吉 香奈子主任保健師

北上市・地域包括支援センター・医療介護職のみなさんと連携を図りながらすすめていきます。  
お気軽にご相談下さい。

～～珊瑚橋&花火～～

## 《編集後記》

無事に連携だより第1号をみなさんへお届けすることができ、まずは、ほっとしています。今後も様々な取り組みを紹介、研修会等の情報提供を行い、医療・介護多職種のみなさんの顔の見える関係づくりに取り組んでまいりますので、引き続きみなさまのご指導ご協力をお願いいたします。

「きたかみ医療介護連携支援だより」の  
ネーミングを募集しております！

